

3 コンクリート技士試験受験対策演習問題

(コンクリート技士試験完全攻略問題集 2010年版より)

【耐久性】

コンクリートの耐久性に関する次の記述のうち、不適当なものはどれか。

- (1) 酸によるコンクリートの侵食作用は、一般的に無機酸（硫酸など）より有機酸（酢酸など）の方が大きい。
- (2) コンクリート中の鋼材は、コンクリート表面に塗装を施すと腐食しにくくなる。
- (3) キャビテーションによるコンクリートの劣化を防止するためには、コンクリート表面を平滑に仕上げるのがよい。
- (4) 新旧コンクリートの打継ぎ部は、水密性・気密性が悪くなりがちで、その部分の鉄筋をさびさせる危険性がある。

正解 (1)

コンクリートは無機酸の強酸（塩酸、硝酸、硫酸）、弱酸（希薄な場合）により、程度の差はあるが侵される。酢酸とその他の有機酸による分解は、強い酸に比べ弱い、コンクリートの酸に対する抵抗性は基本的に低い。